

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 19 日

事務事業名		みかげテニスコート管理運営事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050302000556
政策体系	総合計画の施策名		0503 観光の振興			単独/補助		単独	所属課	050301
	政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり			主要事業		対象外		商工観光課
	施策名		03 観光の振興			市長マニフェスト		対象外	グループ	商工観光グループ
	基本事業名		02 観光資源の充実・開発			未来PJ事業		対象外		
							合併建設計画事業		対象外	
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	01	02	00	真壁野外趣味活動施設事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度～)			
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 真壁野外趣味活動施設の指定管理が平成25年3月31日で終了したため、そのなかで行っていたテニスコートの利用・管理について市で行うこととなり、市民の憩いの場となっている。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・利用者の受付および納付書の発行事務。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
利用者の受付および納付書の発行事務。		利用日数	日	8.00	4.00	5.00	5.00	5.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
市民および利用者		市の人口	人	42,623.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	
テニスコート利用による親睦の強化		利用者数	人	195.00	100.00	120.00	120.00	120.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	
		述べ業務時間	時間	8.00	2.00	2.00	2.00	0.00	
		人件費計（B）	千円	23	6	6	6	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	23	6	6	6	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
				合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する							
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	みかげテニスコート管理運営事業	事務事業No.	50302000556	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
昭和50年に雇用促進事業団が労働者の余暇活動の向上を目的として野外趣味活動施設（みかげ）と共にテニスコートを整備した。平成14年に旧真壁町が購入し、市民の憩いの場として施設の管理運営を実施していた。 平成20年度から指定管理制度を導入し、民間事業所に管理運営を委託していたが、平成25年3月31日で指定管理を取り消した。 その後、市でテニスコートの利用のみを行っている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
指定管理者が見つからない現在は、市でテニスコートの運営を行うほかはない。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	・環境的にはいいということではあるが、分かりづらい場所にあるため、また、同一施設が他にあり、老朽化も進んでいるため、利用率向上を図るにはなかなか難しい。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	見直し余地がある	市民の憩いの場としての利用であるが、利用率が低い今後考える必要がある。
	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
妥当である	みかげの指定管理者がいなくなったことで、テニスコートのみの運営については市が行うのが妥当である。	
有効性	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がある	利用者が少ないことから有効利用を図る。
	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
影響無	利用者が少ないため、特に支障はない。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	
	余地がない	類似事業なし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 （成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
削減余地がない	事業費なし。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	利用機会は均等であるため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・平成24年度でみかげの指定管理者制度が終了し、平成25年度の1年間についてはある程度の利用者がいたが、みかげが閉鎖されたことが周知されてからは、利用者が激減してしまい、平成28年度は4回の利用のみ。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 終了 ☒ 継続 → ☒ 改革改善を行う → ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☒ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		環境的にはいいということではあるが、分かりづらい場所にあるため、また、同一施設が他にあり、老朽化も進んでいるため、利用率向上を図るのはなかなか難しい。しかし、利用者がある限り現状を維持しつつ、テニス愛好者に利用促進を呼びかける。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☐ B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	